

設計調書： VIII 仮設構造物詳細設計

仮設構造物詳細設計調書（土留工・支保工）（1 / 6）

業務名			
構造物名		受注者名	
所在地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物（同条件、同タイプ）のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	⋮	類似構造物
(断面図)	(ボーリング図)		
			(平面図)

区分	層厚	N	r	c	φ	種類
I						
II						
III						
IV						
V						
VI						
VII						

(注) 1. 土の種類は次のとおり。
 ①砂質土
 ②粘性土 N>5
 ③粘性土 N≤5
 2. ボーリング図の出典を記入すること。
 3. 水位を明示すること。
 4. 設計地盤面を明示すること。
 5. 土留杭の施工方法を明示する。
 6. 近接する地中、地上支障物件を明示する。
 7. 切梁設置時の予堀深さを明示する。

仮設構造物詳細設計調書（土留工・支保工）（2 / 6）

項 目			設 計 結 果		備 考	
			計 算 値	使 用 値		
土留工（自立式・支保工式）	杭	土	根入長 ^{※1}			※1 1.5m以上（岩盤の場合別途）
			断面寸法 ^{※2}			※2 H-300以上
		留	応 力 度			
			支 持 力			
			最 大 変 位			
	等	土留板	断面寸法 ^{※3}			※3 3.0cm以上
			応 力 度			
	鋼矢板方式等 <small>（柱列式土留含む）</small>		根 入 長			
			断面寸法 ^{※4}			※4 III型以上（鋼矢板の場合かつ市街地の場合）
			応 力 度			
最 大 変 位 ^{※5}					※5 30cm以内（鋼矢板の場合）	
支 保 工	腹起し 段目	間 隔 ^{※6}			※6 垂直3.0m程度以下、頂部より1m程度以内（無覆工の場合を除く）	
		断面寸法 ^{※7}			※7 H-300以上	
		応力度及び安全度				
	切はり 段目	間 隔 ^{※8}			※8 水平5.0m以下、垂直3.0m程度以下	
		断面寸法 ^{※9}			※9 H-300以上	
		応力度及び安全度				
火打ち	断面寸法			(注 ¹)：次の計算ケースより決定されたものを選ぶ。 (a)掘削完了時 (b)最下段切ばり設置直前 (c)撤去時 (d)盛替時		
	応 力 度					
中 間 杭	間 隔				(注 ²)：次の計算ケースより決定されたものを選ぶ。 (a)（つりあい深さ）×1.2以上 (b)ボーリングに対する必要長 (c)ヒーピングに対する必要長 (d)3.0m以上	
	断面寸法					
	支 持 力					
特記事項					(注 ³)：「建設工事公衆災害防止対策要綱」による。	

仮設構造物詳細設計調書（締切工）（3 / 6）

業 務 名			
構造物名		受注者名	
所在地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物（同条件、同タイプ）のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	類似構造物																																																								
<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 20px;"> <div style="width: 45%;">(断面図)</div> <div style="width: 45%;">(ボーリング図)</div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">層厚</th> <th style="width: 5%;">N</th> <th style="width: 5%;">r</th> <th style="width: 5%;">c</th> <th style="width: 5%;">φ</th> <th style="width: 20%;">種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">II</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">III</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">IV</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">V</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">VI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>(注) 1. 土の種類は次のとおり。 ①砂質土 ②粘性土 N>5 ③粘性土 N≤5</p> <p>2. ボーリング図の出典を記入すること。 3. 水位を明示すること。 4. 設計地盤面を明示すること。</p> </div> <div style="text-align: center;">(平面図)</div>			区分	層厚	N	r	c	φ	種類	I							II							III							IV							V							VI							VII						
区分	層厚	N	r	c	φ	種類																																																				
I																																																										
II																																																										
III																																																										
IV																																																										
V																																																										
VI																																																										
VII																																																										

仮設構造物詳細設計調書（締切工）（4 / 6）

項 目		設 計 結 果		備 考		
		計 算 値	使 用 値			
締 切 工	自 立 式	チヤンの根入長 ^{※1}			※1 仮想地盤面 + π / β 又は $2.5 / \beta$	
		断面寸法 ^{※2}			※2 II型以上 (公衆に係わる区域においてはIII型以上)	
		応 力 度				
		最大変位 ^{※3}			※3 自立高の3%以内	
	方 式	モーメントの根入長 ^{※4}			※4 (つりあい深さ) × 1.2以上	
		断面寸法 ^{※5}			※5 II型以上	
		応 力 度				
		最大変位 ^{※6}			※6 自立高の3%以内	
	二 切 重 幅 締 切 引 張 材 式	設計対象水位	仮締切天端高			
		締 切 重 幅	セン断変形破壊			
			滑 動			
			基礎地盤の支持			
		締 切 引 張 材	鋼 根入長 ^{※7}			※7 受動モーメント = 安全率 × 主働モーメント 又は, 3.0m以上で, どちらか大きい方
			断面寸法 ^{※8}			※8 III型以上
			応 力 度			
		式	引 張 材	間 隔		
材 質						
腹起材			断面寸法 ^{※9}			※9 最小28mm
	応 力 度					
遮水効果	浸透路長					
特記事項						

仮設構造物詳細設計調書（路面覆工・仮橋工）（5 / 6）

業 務 名			
構造物名		受注者名	
所 在 地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物（同条件、同タイプ）のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	類似構造物																																																								
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 20px;"> <div style="text-align: center;">(断面図)</div> <div style="text-align: center;">(ボーリング図)</div> </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>層厚</th> <th>N</th> <th>r</th> <th>c</th> <th>φ</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>II</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>III</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>IV</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>V</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 20px;"> <p>(注) 1. 土の種類は次のとおり。 ①砂質土 ②粘性土 N>5 ③粘性土 N≤5</p> <p>2. ボーリング図の出典を記入すること。 3. 水位を明示すること。 4. 設計地盤面を明示すること。 5. 土留杭の施工方法を明示する。 6. 近接する地中、地上支障物件を明示する。 7. 切梁設置時の予堀深さを明示する。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">(平面図)</div>			区分	層厚	N	r	c	φ	種類	I							II							III							IV							V							VI							VII						
区分	層厚	N	r	c	φ	種類																																																				
I																																																										
II																																																										
III																																																										
IV																																																										
V																																																										
VI																																																										
VII																																																										

仮設構造物詳細設計調書（路面覆工・仮橋工）（6 / 6）

項 目		設 計 結 果		備 考	
		計 算 値	使 用 値		
路 面 覆 工	設計荷重（対象車輛）				※ ¹ L/400（Lは支間）以下，2.5cm以下
	覆 工 板 寸 法				
	受 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		た わ み ※ ¹			
	桁 受 け	断 面 寸 法			
		応 力 度			
	支 持 杭	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		支 持 力			
仮 橋 工	設計荷重（対象車輛）				※ ² L/400（Lは支間）以下，2.5cm以下
	幅 員				
	支 間				
	覆 工 板 寸 法				
	主 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		た わ み ※ ²			
	横 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
	橋 脚	断 面 寸 法			
応 力 度					
支 持 力					
特記事項					